

修士課程

入門科目

経営情報システム特論 2単位 Management Information Systems

情報通信技術および情報システムの活用は、生産性向上と戦略実現のためには全ての企業や組織にとって不可欠なものになっている。本授業では、企業活動の諸機能に対応する情報システムに関わる基礎知識を体系的に修得するとともに、各受講生が選定する先進的な企業の事例を調査研究して、情報システムを用いてデータ・情報・知識を経営に最大活用することによるビジネス上の競争優位確立について学習する。これにより、受講者は、各自の想定する企業の業務機能に対応した経営組織体(購買・研究・生産・物流・販売・アフターサービス・経営管理など)を対象にして、経営情報システムを活用したビジネスモデルの概要設計能力の修得を目指す。

目標: 1. 経営情報および経営情報システムに関するキーワードについて説明できる。2. 経営意思決定および経営情報の役割について説明できる。3. 情報技術とビジネスモデルのアイデアに基づく経営戦略を設定できる。4. 経営情報システムの基本仕様の設計ができる。

データマイニング特論 2単位 Data Mining

データマイニングとは、統計学、パターン認識、人工知能などのデータ解析の技法を大量のデータに網羅的に適用することで知識を取り出す技術を総称したものであり、頻出パターン抽出、相関ルール抽出、クラス分類、回帰分析、クラスターリングなどに分類される。本講義ではデータ記述言語Rを用いたデータマイニングの各種手法のついての基本的な事項を理解するとともに、演習を行うことによって、実事例に適用できる知識と能力を修得する。

目標: 1. 重回帰分析・数量化理論I類による分析と予測ができる。2. 相関分析・クラスター分析などマーケティングに適用できるデータ解析ができる。3. 人工ニューラルネットワーク・サポートベクターマシンなどによる分類・分析・予測ができる。4. 各自の目的に応じて、大量のデータを適切に分析できる。

経済学特論 2単位 Economics

経済をマクロ的視点から捉えて、「民所得統計と産業関連表、国民所得決定理論、流動性選好理論、IS-LM分析、DD-SS分析、国際経済、金融経済などの基礎理論を学ぶ。当科目によって、経済をマクロ的視点から捉える基礎理論を理解し、現実の経済現象を理論的に把握する能力を修得することができる。

目標: 1. 経済をマクロ的視点から説明することができる。2. 経済学で使用する用語を説明することができる。3. 各種経済指標の数値の意味を説明することができる。4. 経済理論に関する理解に基づき、現在の日本経済の状況を説明することができる。5. 現在のわが国の経済状況と個々の企業活動との関連性を説明することができる。

経営情報システム特論 2単位 Management Information Systems

情報通信技術および情報システムの活用は、生産性向上と戦略実現のためには全ての企業や組織にとって不可欠なものになっている。本授業では、企業活動の諸機能に対応する情報システムに関わる基礎知識を体系的に修得するとともに、各受講生が選定する先進的な企業の事例を調査研究して、情報システムを用いてデータ・情報・知識を経営に最大活用することによるビジネス上の競争優位確立について学習する。これにより、受講者は、各自の想定する企業の業務機能に対応した経営組織体(購買・研究・生産・物流・販売・アフターサービス・経営管理など)を対象にして、経営情報システムを活用したビジネスモデルの概要設計能力の修得を目指す。

目標: 1. 経営情報および経営情報システムに関するキーワードについて説明できる。2. 経営意思決定および経営情報の役割について説明できる。3. 情報技術とビジネスモデルのアイデアに基づく経営戦略を設定できる。4. 経営情報システムの基本仕様の設計ができる。